

川内原発の再稼働阻止の闘いを!

# 2/4~5アクション行動に連帯しよう!

全労協集会: 2月4日(水) 18:30 日比谷図書館 B1

## 鹿児島・福島のおんなたちの 要請団が上京行動

1月26日から通常国会が始まった。今国会では異例にも首相の所信表明演説が行われず、「イスラム国」人質事件の発生にもあり、国会審議の様相について報道が極端に少なくなっている。しかし、その陰では沖縄県知事の工事中止要請や1月25日に「辺野古に基地をつくらせない」と7000人が国会を包囲して抗議したにもかかわらず、安倍政権は辺野古の海を埋め立て、新基地建設の為の工事を強行し、抗議する沖縄県民を暴力で排除している。

安倍政権は一方で「原発の再稼働は粛々と進める」ことを表明し、今春、4月にも鹿児島/川内原発の再稼働を強行し、原子力規制委員会が安全審査に適合していると報告した福井県・高浜原発の再稼働を進めようとしている。

この間福島第一原発の事故は収束させることができないばかりか、放射能は拡散を続け、汚染水は増え続けて海洋に漏れ出す事態が続いている。また、廃炉作業に従事する労働者が死亡するなど労働災害も頻発している。政府は再生可能エネルギーへの転換に背を向けているのである。

こうした状況に鹿児島のおんなたちと福島のおんなたちが上京し政府や東京電力に対して「原発再稼働をゆるさな

い」「福島原発事故被害者への完全な補償」を求めて上京することになっている。2月4日(水)、2月5日(木)には別紙ビラ(右ビラ)のように諸行動が取り込まれる。

全労協はこの行動に連帯して2月4日、18:30から全労協決起集会を開催し、東電抗議行動に合流することを決定している。多くの仲間が参加し、脱原発社会の実現に向けて全力をあげよう!

この3月には福島第一原発事故から丸4年が経過することになる。原発事故を決して風化させてはならない。福島を忘れない闘いの継続を職場で地域で大きく創り出して行こう。

「川内原発再稼働阻止・原発いらない!」

# 2・4全労協脱原発屋内集会&

鹿児島のおんなたち・福島のおんなたちによる政府への抗議要請団と  
連帯する2/4~5アクション行動に参加しよう!

行動予定 2月4日14:00~(下記のとおり・結集は原子力規制庁)

- ★14時00分~15時00分 原子力規制委員会抗議申し入れ(六本木ファーストビル前)
- ★15時30分~16時30分 内閣府申し入れ行動
- ★16時00分~17時00分 首相官邸前抗議行動
- ★18時30分~19時45分 全労協脱原発集会 日比谷コンベンションホール(日比谷図書館B1)
- ★19時45分~20時15分 東電本店前全体抗議行動に合流

※各構成組織は組合旗・脱原発旗(ピンク色)を必ず持参願います。

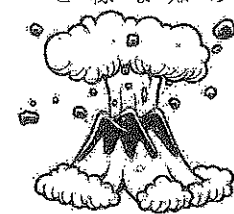


### 2015年脱原発を闘う

#### 全労協屋内集会へ

全労協傘下の仲間の皆さん。安倍政権は昨年12月14日の衆議院解散総選挙で、自公の与党で2/3を超える圧勝を果たし、60%もの再稼働反対の国民世論を無視し、一気呵成に再稼働に突き進む動きを開始しました。12月17日にはこの政治状況を受けて、原子力規制委員会は川内原発に引き続き第二弾として、関西電力高浜原発3・4号機の再稼働に向けた審査書(案)を公表し、新規制基準に適合している事を公表しました。

東日本大震災以後、日本列島全体が火山、地震の活動期に入り、御嶽山の噴火や、阿蘇山の噴火、長野県北部の地震など巨大地震に繋がる地震の発生や、噴火予知技術確立不可能な事態を無視し再稼働に踏み切ろうというのです。



自然の脅威をまざまざと見せつけられた日本は、福島事故を教訓に、震災に脆弱な原子力発電から直ちに撤退すべき時なのです。

2015年は、各電力資本が経済性のみ追求のため、続々と再稼働へ動きを加速し、これに連なる原子力村の復活が目論まれています。この野望を打ち砕く、脱原発運動の前進が益々問われる年です。

全労協は屋内集会を開催し15春闘の脱原発運動と闘い意思統一を行います。多くの仲間への参加を呼びかけます。

2015年2月4日 18時30分~19時30分  
会場 日比谷コンベンションホール  
主催 全国労働組合連絡協議会